

本器を安全にご使用いただくため、取扱説明書の中に記載されている注意、警告の事項内容は必ず厳守してください。

警告 取扱いを誤った場合に、取扱者の生命や身体に危険が及び恐れがあります。その危険を避けるための注意事項です。

注意 取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れがある場合や、機器損傷の恐れがある場合の注意事項です。

本器及び取扱説明書には、安全に使用していただくために、次に示すシンボルマークを使用しています。

	取扱いに注意を示しています。人体及び機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。
--	---

警告

感電の恐れがあります。

- ・本器は低圧用です。AC600V以下の電路で使用してください。測定前に回路電圧の確認を行ってください。
- ・測定は被覆線のみとし、裸線にはクランプしないでください。
- ・本器は防水・防滴仕様ではありませんので、本器に水滴がついた状態では絶対に使用しないでください。また、濡れた手での測定は絶対に行わないでください。測定電圧が高い場合において、大変危険です。

本器を損傷する恐れがあります。

- ・本器の保管は涼しく、乾燥した場所で保管してください。
- ・本器の清掃には薬品（シンナー・ベンジン等）を使用しないでください。
- ・CTに過大電流を印加すると発熱し、本器を損傷する恐れがあります。本器には1000A以上の電流は印加しないでください。
- ・本器の記録計出力端子に電圧等を印加すると、本器を損傷する恐れがあります。
- ・本器は精密測定器です。先端のCTに負担をかけること故障します。
- ・クランプのコア部分を無理に開閉することは絶対に避けてください。
 1. コアの開口部を無理に開いたり閉めたりした場合、コアの噛み合わせ（動合）が変形して測定使用不能となります。
 2. コアの動合が変化した場合、外部磁界の影響を受けて測定誤差になります。
 3. コアの動合が変化した場合、残留電流（負荷電流）の影響を受けて測定誤差になります。

4117

MCL-800F リーククランプ

取扱説明書

第6版

保証書付き

本器を末永くご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。尚、この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出せるように大切に保存してください。

MUSASHI

本 社	〒358-0035 埼玉県入間市大字中神 918-1 TEL 04-2934-8585 (代表) FAX 04-2934-7130
営業本部	〒358-0035 埼玉県入間市大字中神 918-1 TEL 04-2934-6034 (代表) FAX 04-2934-8588
九州営業所	〒816-0811 福岡県春日市春日公園 7-100 TEL 092-592-2161 (代表) FAX 092-592-2163
技術サービス	TEL 04-2934-3671
お客様苦情窓口	TEL 0120-634-109
東京サービスセンター	TEL 04-2934-3081 FAX 04-2934-8589

保証規定

1. 保証期間内（お買い上げより1年間）に正常なる使用状態において万一故障した場合には無償で修理或いは交換させて戴きます。
2. 保証期間内でも以下の場合は、有償とさせていただきます。
 - (イ) 保証書のご提示がない場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源及びその他天災地変などによる故障及び損傷等。
 - (ニ) 本保証書の所定事項の未記入、或いは字句を書き換えられた場合。
 - (ホ) 誤った取扱い或いは改造や修理による故障及び損傷。
3. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
4. 個々に記載されている範囲内に於いてのみ保証させていただきます。

2. 特徴

- ・外部磁界の影響はほとんどありませんので、モーター等に接近した所、他の配線に接近した所でも、微小電流が正確に測定できます。
- ・鉄芯には、長期間使用しても錆びない特殊合金を使用していますので、経年変化が少なく、常に安定した精度を保ちます。
- ・フィルタスイッチを設けましたので、漏れ電流の中に高周波が含まれているかを調査できます。また、その影響を除去した測定ができます。

3. 一般仕様

測定機能	交流電流（クランプ式）
測定方法	積分方式
表示	3 1/2桁、最大表示「1999」単位記号付
測定範囲	AC 0 ~ 200mA, 2, 20, 200, 1000A
漏れ電流・電流	50/60Hz, 分解能 100µA
レンジ切換	5レンジマニュアル
確度保証温湿度範囲	23 ±5 80%RH以下 結露の無いこと
確度	±2.0%rdg ±5dgt
使用温湿度	0 ~ 40 80%RH以下 結露の無いこと
保存温湿度	-10 ~ 60 70%RH以下 結露の無いこと
CT窓径	80mm (開口幅 65mm)
記録計出力	DC100mV (各レンジ f.s.) 1000A レンジのみ 1000A 入力時 DC50mV
オバーレンジ表示	最上位桁「1」のみ点滅（1000A レンジを除く）
フィルタスイッチ	高周波を除去します
データホールド	単位記号を除く表示のみホールド「DH」点灯
電池電圧表示	動作電圧以下の時「B」マーク点灯
ザッピングレート	2回/秒
使用回路電圧	AC600V以下
耐電圧	AC2000V
電源	乾電池 R 0 3 (単4) 2本
寸法	138(W) × 225(H) × 37(D)mm
重量	500g
付属品	電池 単4 2本 キャリングケース 1個 取扱説明書（本書） 1枚 アンケート葉書 1枚

製品保証書

製品NO.	4117 MCL-800F	製造番号	
お客様様	ご芳名	TEL	
	住所 〒	様 FAX	
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間	1ヶ年
販売店	店名		
	住所 〒		

この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には当保証記載内容によりお買い上げの当社営業所および販売店に必ず本保証書を提示の上ご依頼下さい。販売店よりお買い求めのとき、本保証書に販売店とお買い上げ日付けが記載されていない場合は無効となります。本保証書は、再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

Intelligent Technology Corporation
株式会社 ムサシインテック
〒358-0035 埼玉県入間市大字中神 918-1
TEL 04-2934-8585 FAX 04-2934-7130



4. 測定方法

《1. 線電流測定》

1	電源スイッチをONの位置にします。
2	レンジつまみで測定レンジを選択します。 (推定測定電流より大きめのレンジを選択してください)
3	クランプ部を開き、測定したい電線1本を挟み込みクランプを完全に閉じます。
4	指示値を読み取ります。(オーバーレンジの時は最上位桁“1”のみが点滅、但し1000Aレンジを除く) 読み取りにくい場所では、データーホールドスイッチを1回押し(「DH」マーク点灯) 数値を保持して読み取ります。もう一度スイッチを押すと解除します。(「DH」マーク消灯) 大電流測定時に、CTがうなることがあります。異常ではありません。
5	高周波をカットしたい時には、フィルタスイッチをONにします。
6	測定終了後は必ず電源スイッチをOFFにしてください。

《2. 漏れ電流測定》

- 接地線での漏れ電流の測定
測定方法は線電流の測定と同様です。
- 接地線以外の回路での漏れ電流の測定
測定方法は線電流の測定と同様ですが、単相電線の漏れ電流は2本一緒に、三相の場合は3本一緒に挟み込んでください。

⚠ 注意

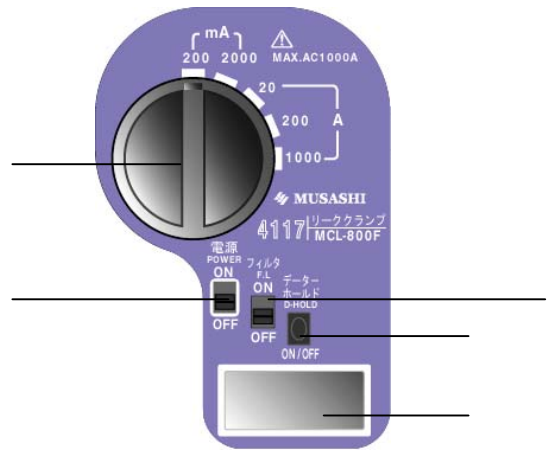
使用中、液晶表示器に「B」マークが点灯したら、電池が消耗したことを示します。速やかに電池を新品と交換してください。
交換方法は「7.電池の交換方法」をご参照ください。

⚠ 警告

損傷の恐れがあります

- ・ 電流測定は、CTに過大電流を印加すると発熱し、本器を損傷する恐れがあります。本器には1000A以上の電流は印加しないでください。
- ・ 本器は精密測定器です。先端のCTに負担をかけると故障します。
- ・ 本器の記録計出力端子に電圧等を印加すると、本器を損傷する恐れがあります。

5. パネル部の説明



フィルタスイッチ	スイッチを「ON」にすることで、高周波をカットすることができます。
データーホールドスイッチ	スイッチを1回押しと測定数値をそのまま保持します。(もう1回押しと解除します)
表示部	液晶パネル(LCD)により測定値の数字表示、電池状態の表示をします。
電源スイッチ	電源のON/OFFスイッチです。
レンジつまみ	レンジ切換用のつまみです。

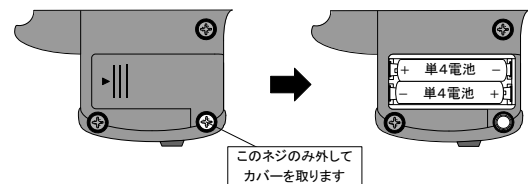
6. 外観



クランプ式ZCT	漏れ電流、電流検出用センサでクランプ式になっています。
開閉レバー	内へ押すとクランプ部が開きます。
記録計出力端子	記録計接続用の端子で 2.5mmのプラグを接続します。
ハンドストラップ	手首にかけ、本器の落下を防止します。

7. 電池の交換方法

1	電源スイッチがOFFであることを確認します。
2	本器の裏側にある電池カバーの止めネジをプラスドライバーで外します。
3	電池カバーを外します。
4	消耗した電池を取り出し、+、-の極性を間違えないように新しい電池と交換します。
5	電池カバーを元に戻し、止めネジを締めます。



⚠ 注意

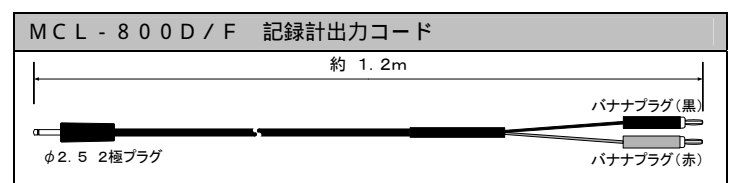
電池を交換する際は、2本とも新品と交換してください。

⚠ 警告

感電の恐れがあります

- ・ 電池カバーを外した後は必ず元に戻してください。
電池カバーを外したままでの測定は、感電の恐れがあります。
危険ですので、絶対にしないでください。

8. オプション(別売)



お求めの際には、お近くの代理店または当社営業所までお問い合わせください。